

# ヒト疾患とモデル動物から究明する骨格筋と皮膚における亜鉛の重要性

徳島文理大学薬学部先端医療薬学コース病態分子薬理学研究室  
深田 俊幸 教授

日時：令和5年5月26日(金) 17:00-18:00  
場所：昭和大学旗の台校舎1号館5階カンファレンスルーム

## 講演内容

亜鉛は鉄に次いで多い必須微量元素であり、その欠乏は、初期発生、免疫系や内分泌系等の機能、皮膚、骨・軟骨、骨格筋、歯牙等の形成に様々な異常をもたらす。亜鉛恒常性の異常が免疫不全、糖尿病、アルツハイマー型認知症等の様々な疾患に関わること、加齢によって生体内亜鉛量が低下することが報告され、亜鉛の健康と病気における関連に注目が集まっている。ヒトの約1割の遺伝子が亜鉛結合ドメインをコードすること、トランスポーターやチャンネルによって制御される亜鉛イオンが情報を伝えるシグナル因子(亜鉛シグナル)として機能することが判明し、細胞機能における亜鉛の多様な役割が明らかにされつつある。

本セミナーでは、主に骨格筋と皮膚に焦点を当てて、これら器官系における亜鉛の必要性と、病態における亜鉛の関与について紹介する。さらに、国際亜鉛生物学会・日本微量元素学会・日本亜鉛栄養治療研究会等の内外の関連学会の活動内容も交えて、亜鉛シグナルを制御する創薬研究について議論する。

多くの先生方、大学院生の皆様のご参加をお待ちしております。

昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門 美島 健二

お問い合わせ:

昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門  
行森 茜 e-mail: yukimori@dent.showa-u.ac.jp

本セミナーはリカレント教育認定です。